



未来を強く生きぬく子どもの育成

泉小だより

第16号
令和8年2月12日
大東市立泉小学校
校長 浅井 裕子

「よりよい学校にするためのアンケート」

先日実施いたしました標記アンケートの結果概要をご報告いたします。このアンケートは、皆様からの貴重なご意見をいただき、子どもたちにとってより良い教育環境を築くための大切な機会と捉えております。ご回答いただきました保護者の皆様、ご多忙の中アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。各学年から満遍なく回答をいただけたものの割合としては少なく、この結果をもって昨年度と比較することは難しいと感じています。貴重なご意見を参考にさせていただくとともに、この結果を真摯に受け止め、より多様で幅広いご意見をちょうだいするために、次年度はアンケートの回収方法の改善を検討してまいります。

	質問項目	肯定的な回答(%)
1	子どもは、学校に行くことを楽しみにしている	82.9%
2	子どもは、学校での授業が楽しくわかりやすいと言っている	82.9%
3	子どもは、運動会・音楽会・社会見学などの学校行事に意欲的に参加している	97.1%
4	子どもは、夢や目標について、話をしている	67.1%
5	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている	80.0%
6	学校は、「学校だより」「ホームページ」等で、教育活動がわかるように発信している	94.3%
7	学校は、一人ひとりの基礎学力を身につけさせようとしている	78.6%
8	学校は、学習における子どもの力や努力を適切に評価している	90.0%
9	学校は、ICT 教育に積極的に取り組んでいる	90.0%
10	学校の施設・設備は、学習環境面でほぼ満足できる	68.6%
11	学校は、子どもの安全について配慮している	90.0%
12	家庭では、「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけている	94.3%
13	家庭では、学校の学習や生活について子どもと話をしている	98.6%

子どもたちの学校生活について、学習や行事に対して、前向きな気持ちで臨んでいることの表れであると捉えています。子どもたちが楽しみにしている学校行事は、仲間と協力し、目標にむかって努力する経験を通して、子どもたちの社会性や自己肯定感を育むことができると考えます。この強みを伸ばし、すべての子どもたちにとって思い出深く、成長の糧となるよう、魅力ある学校行事を精選して実施してまいります。

学校の取組みについて、学校運営の重点項目である「安全・安心」な学校づくり、情報発信、ICT 教育についてもご理解いただけていると捉えています。今後も、より丁寧にすすめてまいります。

ご家庭での取組みに関する項目では、きわめて高い割合で肯定的な回答をいただきました。子どもたちの健やかな成長の土台となる生活習慣の確立や、学校生活への関心を寄せていただいていることは、教育活動を進めるうえで大変心強く感じております。子どもたちが意欲的に活動できている大きな要因であると、改めて感謝申し上げます。

今後、私たちがさらに力を注ぐべき領域についても明らかになりました。「子どもたちの夢や目標を育むためのしきけ」「学習環境の整備と充実」「基礎学力の定着」について、課題がみられました。学校では6年間をおして「キャリアパスポートの作成」に力をいれており、様々取組みに目標をもち、自己有用感を高められるよう

に努めています。今後は、子どもたちの実感が伴っているか確認しながら、様々な職業や生き方に触れるキャリア教育の充実など、視野を広げるための具体的な取組みを検討してまいります。

学校施設・設備の維持管理については、日頃から安全点検を行っているものの、老朽化に伴うご意見もちょうだいしているところです。学校としても、計画的な修繕にむけた働きかけを行うことが重要な課題であると捉えています。

基礎学力の定着については、朝の学習や「毎日プリント」を活用して定着を図っているところですが、今後は、本校の強みであるICT教育(1人1台端末)も活用することで、紙とデジタルの良さをいかしながら、基礎学力が定着するよう取り組んでまいります。

アンケート結果については、全教職員で共有し、今回の分析を基に、日々の授業や学校運営に生かしてまいります。保護者の皆様との連携は、学校にとって不可欠な力であり、子どもたちの成長を支える最大の基盤であると考えております。今後も、本校の教育活動への変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

平和ポスター（ライオンズクラブ）が表彰されました。

6年児童が夏休みに取り組んだ平和ポスターが表彰されました。受賞作品を1階下足室廊下に掲示いたします。参観日に、是非ご覧ください。

最優秀賞	6年2組 川上 桃李
大健ライオンズクラブ会員賞	6年1組 中農 明泉
努力賞	6年1組 中村 修大・森下 桜子
	6年2組 杉本 空迦・高橋 梨乃彩
	6年3組 西郷 秀一



小・中学生にも広がる「ポケットシーシャ」の危険性について

「ポケットシーシャ」という言葉をお聞きになったことがあるでしょうか。「ポケットシーシャ」とは、ニコチンやタールを含まないフレーバー付きの吸引する水蒸気です。たばこ製品の喫煙や生活習慣の悪化につながる恐れがあり、健康面での安全性が保証されていないにも関わらず、未成年が使用しても違法にはなりません。しかし、その危険性から警察は吸引する行為等から厳重注意を行っています。

先日、高学年対象で実施した非行防止教室でも、「聞いたことがある」と話した子どもたちが複数いました。私たち教職員のみならず、保護者や地域の皆様にポケットシーシャの危険性についてご理解いただき、子どもたちをその危険から一緒に守っていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

小・中学生にも広がるポケットシーシャの危険性

1 ポケットシーシャとは

- ✓ タバコの葉ではなく、リキッドを使用してフレーバー付きの水蒸気を吸引。
- ✓ ニコチンやタールを含まない。
- ✓ 使用に関する年齢制限はなく、未成年が使用しても違法ではない。
- ✓ VAPE（ベイプ）と呼ばれるものも類似品である。

ポケットシーシャの一例



2 法律違反ではなくとも危険性はある

- ✓ たばこ製品の喫煙や生活習慣の悪化につながる
 - ・遊び感覚でポケットシーシャを使用することで、たばこ製品への興味が沸く。
 - ・たばこ製品や喫煙行為をすすめてくる人間との関係ができやすくなり、生活環境や生活習慣そのものに大きな影響が出てしまう。
- ✓ 健康面での安全性が保証されていない
 - ・ニコチン・タール以外の成分は使用されており、それらを加熱して肺に深く入れたときの健康被害については保証されていない。
 - ・海外で生産された安価なものには、ニコチンが含まれているものも存在するとの報告がある。

3 販売店や警察の見解・対応

- ✓ 販売店は上述のような危険性から、未成年者への販売を自粛している。
- ✓ 原則は補導対象ではないが、警察は吸引する行為等から厳重注意を行っている。